コンピュータと数式処理 簡約と行列

鈴木正幸,岩手大学・非常勤講師 suzuki@iwate-u.ac.jp 鈴木正幸,岩手大学・非常勤講師 2023 年 10 月 31 日

目次

1 ガウス消去

1.1 連立一次方程式

$$x + y + z = 3 \tag{1}$$

$$x - y - z = -1 \tag{2}$$

$$x - y + z = 1 \tag{3}$$

(4)

1.2 行列による表現

x を -y-z+3 で置き換える. 順序の高変数を,順序の低い変数か成る等式で置き換える。 行列操作でいうと,1 行目の横ベクトル定数倍して,他の行から引いたベクトルで置き換える:

2 行目を -2 で割って, 3 行目を-2 で割っても解は変らないので,

3 行目を y = -z + 2 で置き換える

$$x$$
 y
 z
 c
 意味

 1
 1
 1
 -3
 $x+y+z-3=0$

 0
 1
 1
 2
 $y+z-2=0$

 0
 0
 -1
 -1
 $-z=-1$

3 行目を-1 で割って, 3 角行列ができる。

後退消去して、

2 グレブナー基底計算と行列

$$f1: x^3 - 3x^2 - y + 1 = 0 (5)$$

$$f2: -x^2 + y^2 - 1 = 0 ag{6}$$

の解を求めたい。

 $f2:x^2=y^2-1$ の関係を用いて, $f1:x^3=3x^2+y-1$ の関係を簡約する。 $f1-f2:(x^3=3x^2+y-1)-(x^3=xy^2-x)$ $f3:-3x^2-xy^2+x+y-1$

 ${
m f3}$ の式は , ${
m f2}$ でそのまま簡約できる f4=f3+3f2

$$f4: (3x^2 - xy^2 + x + y - 1) - 3(x^2 - y^2 + 1) = -xy^2 + x + y + 2$$

$$x^3$$
 x^2
 xy^2
 x
 y^2
 y
 c
 意味

 1
 -3
 0
 0
 0
 -1
 1
 $f1: x^3 - 3x^2 - y + 1 = 0$

 0
 -1
 0
 0
 1
 0
 -1
 $f2: -x^2 + y^2 - 1 = 0$

 0
 0
 -1
 1
 2
 -1
 $f4: -xy^2 + x + y + 2 = 0$

このように, s-多項式の生成は新らしい項を生成し,ベクトル空間の次元を変化させる。新しい頭項を持った s-多項式が生れなくなるまで,この生成と簡約が続けられる。